

伝染性皮下造血器壊死症

Infectious Hypodermal and Hematopoietic Necrosis; IHHN

クルマエビ類に発生するウイルス病

クルマエビ類に広くまん延しているウイルスによる病気である。南北アメリカ大陸、東南アジア、太平洋諸島の養殖クルマエビ類に発生している。

どんな病気？

- 1.ブルーシュリンプは稚エビでは急激に発生し、死亡率が高いが、成エビではほとんど死亡しない。
- 2.ブルーシュリンプの稚エビは食欲の低下、緩慢な異常遊泳をする。
- 3.外観症状は、ブルーシュリンプでは殻の継ぎ目に白色または黄褐色の斑点がみられる。ホワイトレグシュリンプでは成長不良や額角および触角の変形がみられる。



病気が発生したクルマエビ属のえび類

ブルーシュリンプ、ホワイトレグシュリンプ、ウェスタンホワイトシュリンプ、イエローレグシュリンプ、ウシエビ（商品名：ブラックタイガー）、クルマエビ、クルマエビ

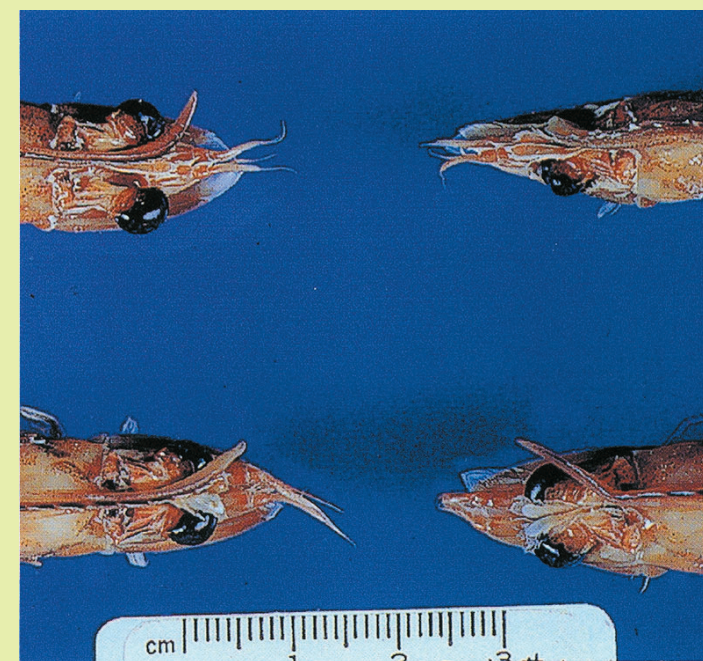


発生があった国・地域

アメリカ合衆国南東海岸、中南米諸国
ハワイ、グアム、タヒチ、ニューカレドニア
シンガポール、フィリピン、タイ、マレーシア、インドネシア、ミャンマー、イラン
オーストラリア



殻の継ぎ目に白または黄褐色の斑点がみられる（ブルーシュリンプ）。
【D.V.Lightner博士提供 1996】



額角や触角の湾曲や変形がみられる（ホワイトレグシュリンプ）。
【D.V.Lightner博士提供 1996】